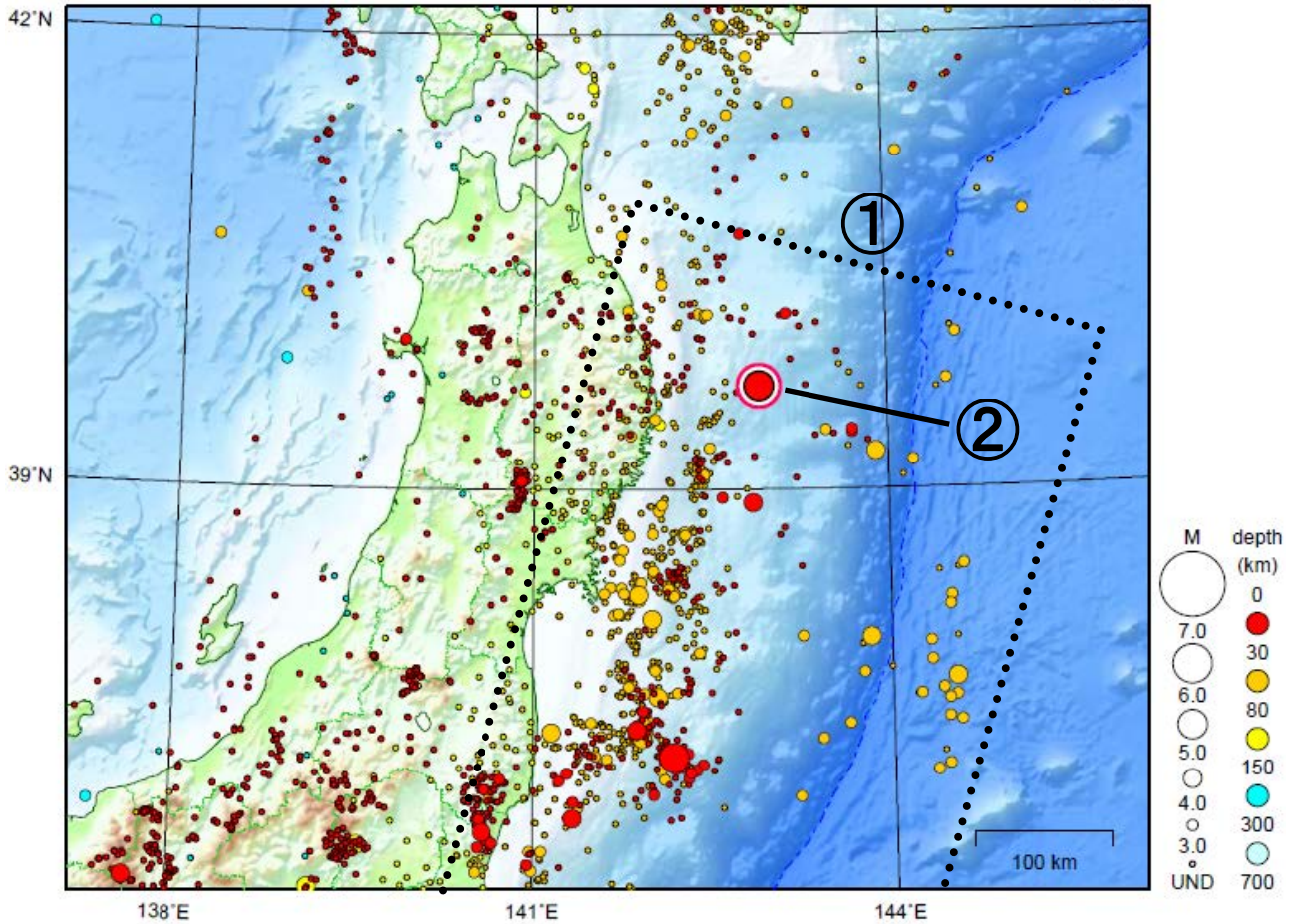


東北地方

2016/02/01 00:00 ~ 2016/02/29 24:00

N=2481



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 2 月中に、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域内では M5.0 以上の地震が 2 回発生した（関東・中部地方も参照）。また、最大震度 4 以上を観測する地震が 2 回発生した。

以下の②の地震活動は、東北地方太平洋沖地震の余震域内で発生した。

- ② 2 月 2 日に岩手県沖で M5.6 の地震（最大震度 4）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余震活動

2016 年 2 月は、領域 a（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の震源域及び海溝軸の東側を含む震源域の外側）で M5.0 以上の地震は 2 回発生した。また、最大震度 4 以上を観測する地震は 2 回発生した。

2011 年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震活動は次第に少なくなっているものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な地震活動が継続している。

領域 a で 2016 年 2 月に発生した M5.0 以上の地震は以下のとおり。

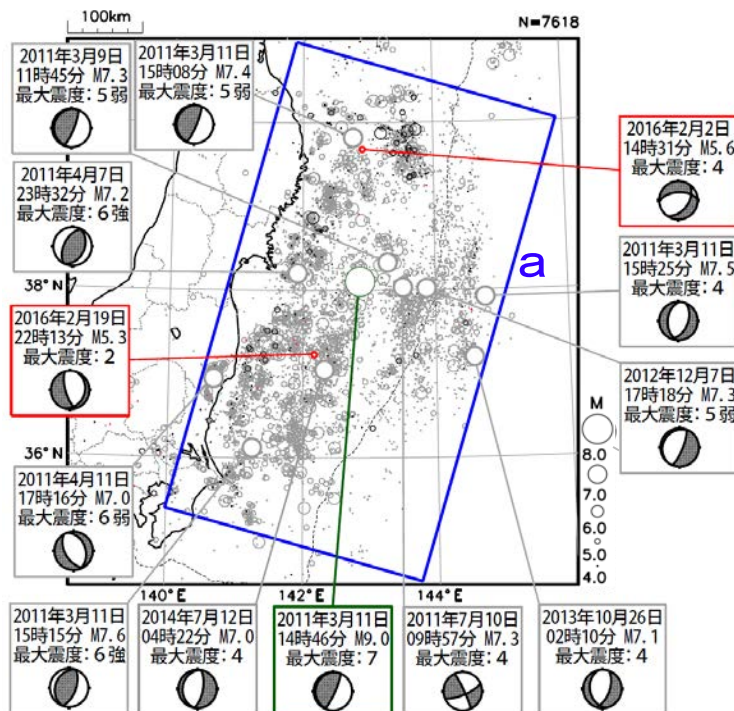
2016 年 2 月に領域 a 内で発生した M5.0 以上の地震

発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT 解）
02月02日 14時31分	岩手県沖	5.6	5.3	4	北北西－南南東方向に張力軸を持つ正断層型
02月19日 22時13分	福島県沖	5.3	5.2	2	東西方向に張力軸を持つ正断層型

震央分布図

（2011 年 3 月 1 日～2016 年 2 月 29 日、深さすべて、 $M \geq 4.0$ ）

2011 年 3 月からの地震を薄く、2015 年 2 月から 2016 年 1 月の地震を濃く、
2016 年 2 月の地震を赤く表示。発震機構は CMT 解。



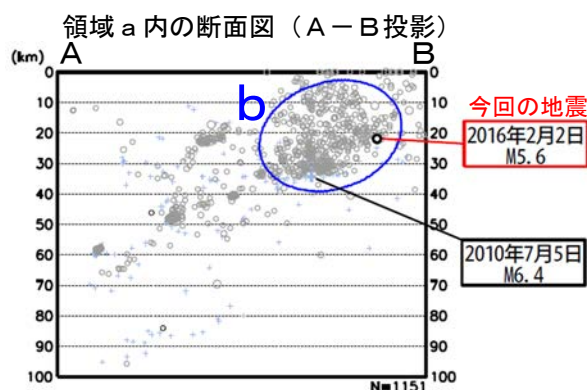
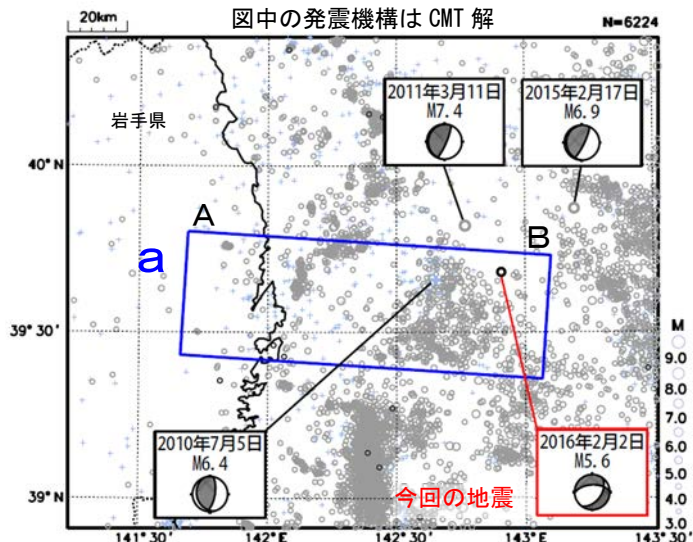
領域 a 内の M7.0 以上の地震と
2016 年 2 月に発生した M5.0
以上の地震に吹き出しをつけた。



2月2日 岩手県沖の地震

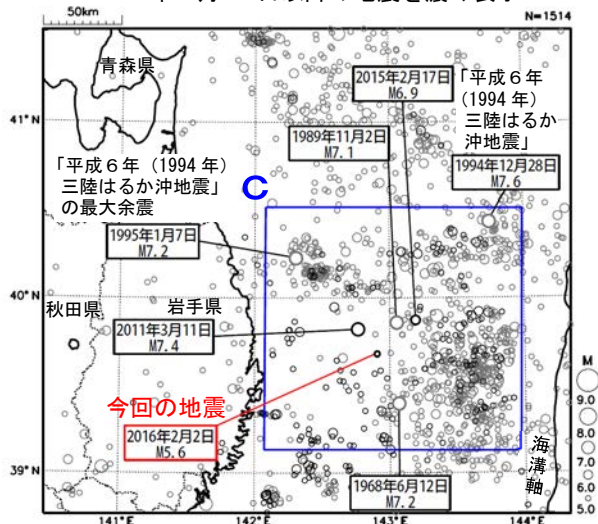
震央分布図
(1997年10月1日～2016年2月29日
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○
2016年2月の地震を濃い○で表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図
(1923年1月1日～2016年2月29日
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

2011年3月11日以降の地震を濃く表示

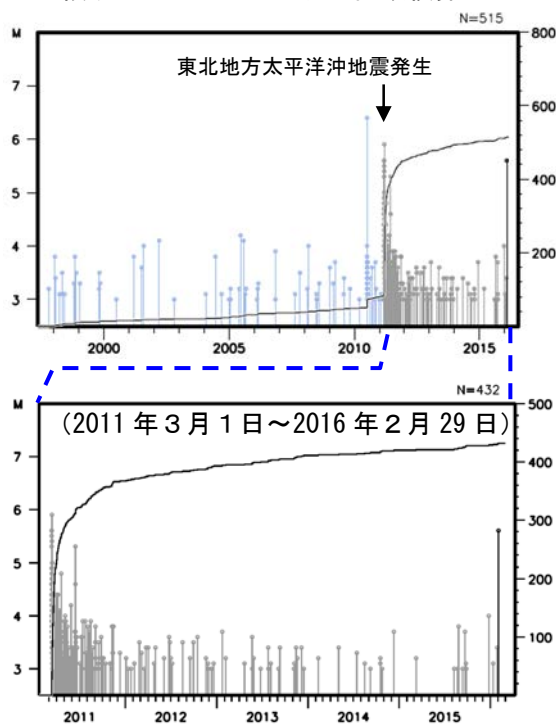


2016年2月2日14時31分に岩手県沖でM5.6の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」発生以前、M5.0を超える地震は1回しか発生していなかったが、東北地方太平洋沖地震の発生直後には数回発生するなど、地震活動の一時的な高まりがみられた。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域c) では、M7.0を超える地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

